

Name: Your Name
しがつじゅうしちにちすいようび
四月十七日水曜日

Insert Title Here

むかし ねこ ねこ なまえ
昔々、うそつきの猫がいました。猫の名前はねこみでした。ねこみくんは
びんぼうでしたから、どろぼうになって、にぎやかなお店をぬすむことに決
めました（5）。しかし、お店をぬすむために、どうナイフを持っているか
ら、かみなりにうたれて、死にました。

しかし、ねこみくんは猫なので、まだ八つのいのちがのこされていました。
ねこみくんは生き返りました。ねこみくんのお中がぺこぺこ（10）ですか
ら、魚をぬすみしました。しかし、他の猫が見た時、ねこみくんは「私はど
ろぼうじゃないです。」と言って、魚を食べました。でも、魚はどく入って
いましたから、また死にました。

またまたねこみくんは生き返りました。今度は仕事を見つけたけど、初め
ての日にねぼうしました。仕事に入る時、ねこみくんは「申し訳ございま
せん。こうつうがおりになったから、おそくおなりになりました。」
（8）と言いました。しかし、ねこみくんの家はむかいにあるので、会長
がおこって、ねこみくんになぐられました（1）。ねこみくんは死にまし
た。

またまたねこみくんは生き返りました。ある日ねこみくんは美しい猫を見
ました。「その猫の彼氏になりたい」と考えて、美しい猫へ話しに行きま
した。子供のプールの前にいる時、美しい猫は「およげますか」と聞い
て、ねこみくんが「もちろん」と答えました。しかし、それはうそです。
子供のプールにおぼらしました。

またまたねこみくんは生き返りました。ある日ねこみくんはパーティーでまた美しい猫を見ました。美しい猫へ話しに行きました。今度、美しい猫は「何歳ですか」と聞きました。ねこみくんがまたうそを言いました。「私は二十一歳です。見て、酒を飲めます。」ねこみくんはとってもよって、こうつうじこで死にました。

またまたねこみくんは生き返りました。ある日ねこみくんはまた美しい猫を見ました。美しい猫へ話しに行きました。今度は美しい猫は「お金持ちですか」と聞きました。ねこみくんがまた「もちろん」と言っ、どろぼうが聞いてから、ねこみくんがかすめられて、死にました。

またまたねこみくんは生き返りました。ねこみくんは にやくざ員の足のの上に たまたま 歩きました。にやくざ員は 「おい、あやまれ」と言いました。にやくざ員は とても こわいので、ねこみくんは 「何？おれは おやぶんの むす子だよ」と言いました。これは うそですから、ねこみくんがころすことになりました（４）。

またまたねこみくんは生き返りました。ねこみくんは彼女のために（２）お金をもうけるべきだと思いました（７）。ですから、やみ金を取って、ギャンブルをして、全部お金のなくしました。ある日、やみきんゆうは お金を欲しがっていましたが、ねこみくんは 毎日 「あした、お金を あげるつもりです」と言いました。ですから、やみ金ゆうは せいめいほけんを うけるために、ねこみくんをころしました（３）。

ねこみくんは生き返りました。これは最後のいのちですから、ねこみくんはうそを ぜんぜん 言いたくないでした。しかし、ねこみくんは彼女のクリスマスのプレゼントをなくしました。次の日、彼女は 「プレゼントは どこなの？」（９）と聞きました。ねこみくんは「プレゼントを 無くしまし

た。ごめんなさい。」とみとめました。^{かのじょ}彼女は「^{しあわ}幸せだ。なぜなら、うそを
^い言わないからだ。（6）ありがとう」と言いました。^{さいご}最後に、ねこみくんと
^{かのじょ}彼女は とても よろこびました。

^{きょうくん}教訓は^{よくば}欲張らない方がいいし、^{ほう}うそを^い言っではいけません。そして、
^{ななころ}「七転び^や八起き^お」ということわざが^{ほんとう}本当でしょう。